

平塚地区団体戦

〔 実業団対抗戦
クラブ対抗戦 〕

リーグ運用規定

平成 29 年 3 月
平塚市テニス協会

はじめに

このリーグ規定は、平塚市テニス協会主催の平塚地区団体戦（実業団対抗戦、クラブ対抗戦）におけるリーグ戦の各種規定をまとめたものです。

平成29年度、一部改定しました。

・P.6のブロック内順位決定方法の中の「完了試合」に関する規定を削除しました。（29年度は完了試合数を順位決定の際に考慮しません。）

今後も、大会運営上で必要となる規定については、随時改訂を進めていきたいと考えております。

皆様の御協力をお願い申し上げます。

目 次

	ページ番号
I リーグのブロック分け・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II 昇格、降格のルール・・・・・・・・・・・・・・・・	5
III 前年度の成績によるチーム振り分けのルール・・・	7
IV 県実業団参戦チームの取り扱いについて・・・・・・	9

I リーグのブロック分け

1 実業団男子

1部、2部、3部、4部リーグで構成する方式とします。

1部、2部は4チーム（リーグ）×2ブロックで構成します。

3部、4部は、エントリー数に応じてブロック数、1ブロックのチーム数を決定します。その際、下位のリーグのブロック数が上位のリーグのブロック数よりも多くなることはないように各部のブロック数を決定します。

3部は原則として4チームのリーグとし、4部はエントリー数により4チームまたは3チームのリーグとします。

【1部】 4チーム（リーグ） × 2ブロック = 8チーム

	A1	A2	A3	A4
A1				
A2				
A3				
A4				

	B1	B2	B3	B4
B1				
B2				
B3				
B4				

【2部】 4チーム（リーグ） × 2ブロック = 8チーム

	C1	C2	C3	C4
C1				
C2				
C3				
C4				

	D1	D2	D3	D4
D1				
D2				
D3				
D4				

【3部】【4部】 エントリー数に応じてブロック数を決定します。その際に4部リーグのブロック数が3部のブロック数と同数か、1ブロック多くなるようにします。

3部、4部に所属するチームの数	3部のブロック数	4部のブロック数
14～16チーム	2ブロック	2ブロック
17～20チーム	2ブロック	3ブロック
21～24チーム	3ブロック	3ブロック
25～28チーム	3ブロック	4ブロック

3部は1ブロック4チームのリーグとなります。

4部はエントリー数に応じて1ブロック4チームもしくは3チームのリーグとなります。

例1) 総エントリー数が35チームの場合

リーグ	1部	2部	3部	4部
ブロック数	2	2	2	3
チーム数	8	8	8	11

【3部】 4チーム（リーグ） × 2ブロック = 8チーム

	E1	E2	E3	E4
E1				
E2				
E3				
E4				

	F1	F2	F3	F4
F1				
F2				
F3				
F4				

【4部】 4チーム（リーグ） × 2ブロック +
3チーム（リーグ） × 1ブロック = 11チーム（※）

	G1	G2	G3	G4
G1				
G2				
G3				
G4				

	H1	H2	H3	H4
H1				
H2				
H3				
H4				

	I1	I2	I3
I1			
I2			
I3			

※ 4部はエントリー数に応じて3チームまたは4チームのブロックで構成します。

例2) 総エントリー数が38チームの場合

リーグ	1部	2部	3部	4部
ブロック数	2	2	3	3
チーム数	8	8	12	10

【3部】 4チーム（リーグ） × 3ブロック = 12チーム

	E1	E2	E3	E4
E1				
E2				
E3				
E4				

	F1	F2	F3	F4
F1				
F2				
F3				
F4				

	G1	G2	G3	G4
G1				
G2				
G3				
G4				

【4部】 4チーム（リーグ） × 1ブロック +
3チーム（リーグ） × 2ブロック = 10チーム（※）

	H1	H2	H3	H4
H1				
H2				
H3				
H4				

	I1	I2	I3
I1			
I2			
I3			

	J1	J2	J3
J1			
J2			
J3			

※ 4部はエントリー数に応じて3チームまたは4チームのブロックで構成します。

2 実業団女子

原則、1部は4チームのリーグ方式とし、2部はエントリー数に応じてリーグのグループ分けの形を決定する方式とします。

【1部】 4チーム（リーグ） × 1ブロック = 4チーム

	A1	A2	A3	A4
A1				
A2				
A3				
A4				

【2部】

1部の4チームを除いた残りのチームの数に応じて2部リーグの振り分けを決定。

- 3チームの場合 → 3チーム1ブロックのリーグ戦
- 4チームの場合 → 4チーム1ブロックのリーグ戦
- 5チームの場合 → 5チーム1ブロックのリーグ戦
- 6チームの場合 → 3チーム2ブロックのリーグ戦後、順位決定戦
- 7チームの場合 → 4チーム、3チームのリーグ戦後、順位決定戦
- 8チームの場合 → 4チーム2ブロックのリーグ戦後、順位決定戦（※）
- 9チームの場合 → 5チーム、4チームのリーグ戦後、順位決定戦（※）

※昇格チーム決定戦のみ実施

（例1）4チームの場合

	B1	B2	B3	B4
B1				
B2				
B3				
B4				

（例2）7チームの場合

	B1	B2	B3	B4
B1				
B2				
B3				
B4				

	C1	C2	C3
C1			
C2			
C3			

ブロック1位同士、2位同士、3位同士で順位決定戦を実施。

※総エントリー数が7チームに満たない場合は、以下の方式とします。

総エントリー数5チーム以下の場合：全チームで1ブロックのリーグ戦

総エントリー数6チームの場合：3チーム×2ブロックのリーグ戦後、順位決定戦

3 クラブ対抗戦

1部、2部、3部リーグで構成する方式とします。

1部、2部は4チーム（リーグ）×2ブロックで構成します。

3部は、エントリー数に応じてブロック数、1ブロックのチーム数を決定します。

【1部】 4チーム（リーグ） × 2ブロック = 8チーム

	A1	A2	A3	A4
A1				
A2				
A3				
A4				

	B1	B2	B3	B4
B1				
B2				
B3				
B4				

【2部】 4チーム（リーグ） × 2ブロック = 8チーム

	C1	C2	C3	C4
C1				
C2				
C3				
C4				

	D1	D2	D3	D4
D1				
D2				
D3				
D4				

【3部】 5チーム（リーグ） × 1ブロック
 4チーム（リーグ） × 1ブロック = 9チーム (※)

	E1	E2	E3	E4	E5
E1					
E2					
E3					
E4					
E5					

	D1	D2	D3	D4
D1				
D2				
D3				
D4				

※3部はエントリー数に応じて、3～5チームのブロックで構成します。

Ⅱ 昇格、降格のルール

1 昇格、降格のルール

昇格、降格のルールは原則、次のとおりとします。

- 1) 各ブロックでリーグ戦1位となったチームは自動昇格。(1部は除きます)
各ブロックでリーグ戦4位となったチームは自動降格。(最下部は除きます)

(例)

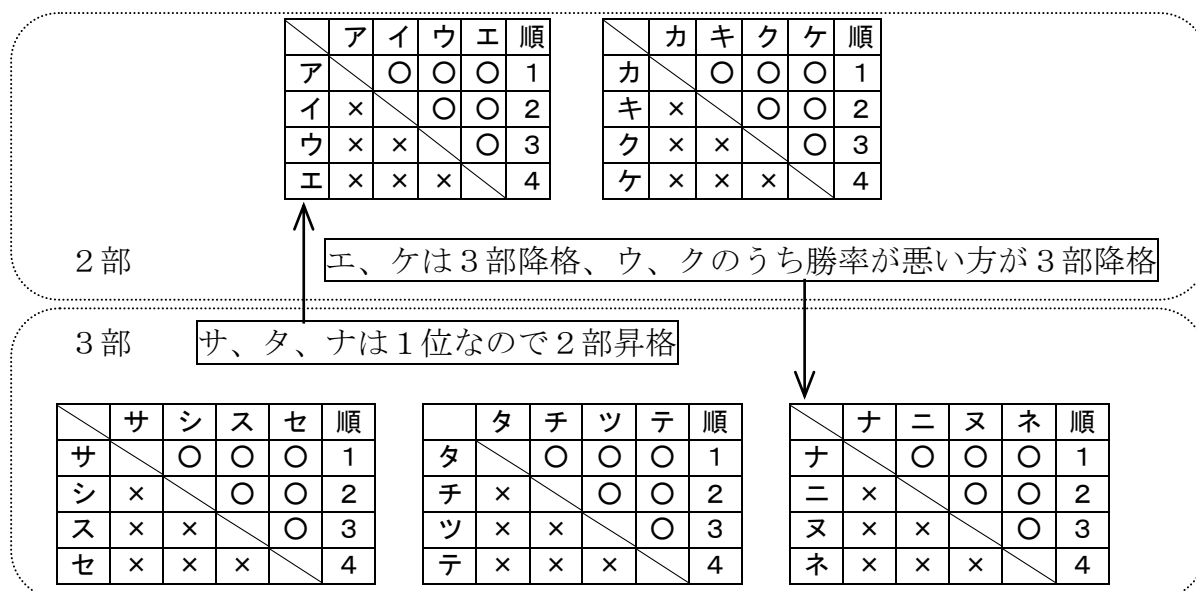
Aブロック						Bブロック					
	ア	イ	ウ	エ	順		カ	キ	ク	ケ	順
ア		○	○	○	1	← 自動昇格 →	カ		○	○	1
イ	×		○	○	2	← 残 留 →	キ	×		○	2
ウ	×	×		○	3	← 残 留 →	ク	×	×		3
エ	×	×	×		4	← 自動降格 →	ケ	×	×	×	4

- 2) 1) のルールで入れ替えを行った際、降格チームよりも昇格チームの方が多い場合は、上部リーグのブロック3位チーム間で、①勝点、②勝利試合数、③取得ゲーム率、の順番に比較し下位となったチームが降格します。(決定戦は行いません。)

※取得ゲーム率=取得ゲームの合計数÷全試合のゲーム合計数

③でも順位が決まらなかった場合は、抽選により降格チームを決定します。

(例)



- 3) 実業団女子は、1部が4チーム1ブロックのみであるため、1部から2部に降格するチームを1チームとします。昇格するチームは2部の最上位のチームとします。
2部が複数のブロックにより構成されている場合は、両ブロックの1位同士で順位決定戦を行い、勝利したチームが昇格します。

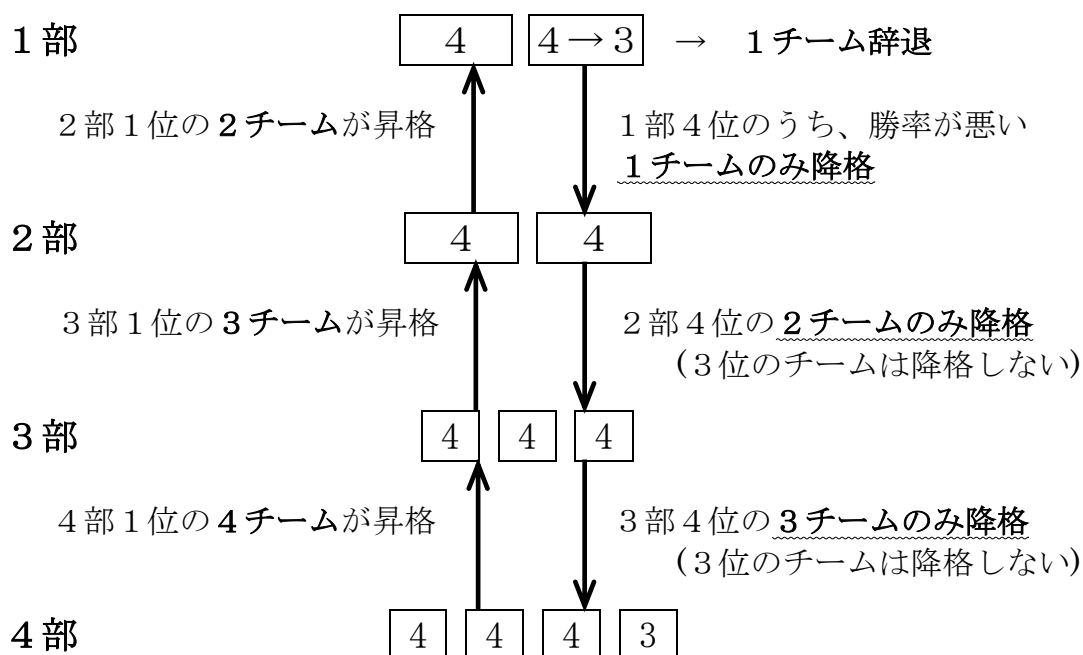
※エントリー数が7チームに満たなかった場合、1～4位のチームを次年度の1部、5位以下のチームを次年度の2部とします。

2 新規チーム、エントリー未実施チームの取扱いについて

新規参戦チーム、事情によりエントリーを一時取りやめたチームが出た場合の取り扱いについては次のとおりとします。

- 1) 新規参戦チームは、当該種目の最下部リーグからスタートします。
- 2) 最下部以外の上部リーグにエントリーする権利を持ったチームが、エントリーを行わなかった場合、その次の年以降に再度参戦する場合は、新規チームと同様の取扱いとします。(最下部からスタートとなります。)
- 3) エントリー取りやめチームが出た場合は、降格チーム数を減らし、各部のチーム数が変わらないよう調整します。(昇格チーム数の変更は行いません。)
降格が免除されるチームは、1の2)に記載した方法により上位となったチームとします。

(例) 1部のチームが1チーム、エントリーを辞退した場合



3 ブロック内の順位決定方法

各ブロック内の順位の決定方法については「テニスルールブック 2017」に準じ、次のとおりとします。

1) チームの勝点の高い方を上位とします。

勝点は勝利を3点、引分けを1点、敗戦を0点とします。

2) 2チームが同勝点になった場合は、

①互いの対戦結果（直接対決）の勝者を上位とします。

②直接対決の結果がポイント数が同じ（引き分け）の場合は、その対戦における取得ゲーム率（%）の高いチームを上位とします。

※取得ゲーム率＝取得ゲームの合計数÷全試合のゲーム合計数

③②でも順位が決まらなかった場合は、抽選で順位を決定します。

3) 3チームが同勝点になった場合は、以下の要素で順位をつけることとします。

①合計の勝利試合数の多いチームが上位とします。

②①が同じ場合、全試合での取得ゲーム率（%）の高いチームが上位とします。

③②でも順位が決まらなかった場合は、抽選で順位を決定します。

4) ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数はすべて0 とします。

（不戦勝は8－0、不戦敗は0－8、両者ノーショウは両方とも0－8となります。）

5) 試合途中のリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームをすべて取ったものとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録します。

例) A対Bの試合でBが6－3の時ケガ等でリタイアした場合、勝者はAとなり、スコアは、8－6となります。

【重要！】

28年度のブロック順位決定方法に規定されていた「完了試合数」については、29年度は適用しません。

よって、ある対戦でチームとして全てのポイントを棄権し、完了試合数が他チームよりも1ポイント少なくなったとしても順位決定上は考慮しません。

その試合の結果は、全ての試合を0－8で敗戦、という扱いとなります。

Ⅲ 前年度の成績によるチーム振り分けのルール

前年度のリーグ成績をもとに、以下の通り参加チームを各部に振り分けます。

1 実業団男子

部	チーム数	振り分けられるチームの前年度の成績（該当チーム数）
1 部	8	・ 男子 1 部リーグの各ブロック 1 位、2 位、3 位 (6) ・ 男子 2 部リーグの各ブロック 1 位 (2)
2 部	8	・ 男子 1 部リーグの各ブロック 4 位 (2) ・ 男子 2 部リーグの各ブロック 2 位 (2) ・ 男子 2 部リーグの各ブロック 3 位のうち勝率上位のチーム (1) ・ 男子 3 部リーグの各ブロック 1 位 (3)

※ 平成 28 年度より、ブロック構成が変更となります。3 部、4 部は、エントリー総数に応じてブロック数、チーム数を決定します。その際、下位のリーグのブロック数が上位のリーグのブロック数よりも多くなることのないように各部のブロック数を決定します。

2 実業団女子

部	チーム数	振り分けられるチームの前年度の成績（該当チーム数）
1 部	4	・ 女子 1 部リーグの 1 位、2 位、3 位 (3) ・ 女子 2 部リーグの 1、2 位決定戦勝利チーム (1) ※エントリー数が 7 チームに満たなかった場合は、1～4 位のチーム
2 部	?	・ 上記以外のチーム

3 クラブ対抗戦

部	チーム数	振り分けられるチームの前年度の成績（該当チーム数）
1 部	8	・ クラブ 1 部リーグの各ブロック 1 位、2 位、3 位 (6) ・ クラブ 2 部リーグの各ブロック 1 位 (2)
2 部	8	・ クラブ 1 部リーグの各ブロック 4 位 (2) ・ クラブ 2 部リーグの各ブロック 2 位 (2) ・ クラブ 2 部リーグの各ブロック 3 位のうち勝率上位のチーム (1) ・ クラブ 3 部リーグの各ブロック 1 位 (3)
3 部	?	・ 上記以外のチーム

4 実業団男子 3 部のブロック数が変わった時のルール

平成 28 年度より、種目毎の総エントリー数が変わった場合、実業団男子 3 部については、ブロック数が変わることがあります。

そのような場合、降格するはずだったチームの降格がなくなったり、逆に降格するはずではなかったチームが降格する、ということが発生します。

その場合のチーム数を調整するための割り当てのルールは次ページの優先順位に従って行います。

3 部のブロック数に応じて 4 部もブロック数が変化する可能性がありますが、4 部は最下部となるので、原則として、上部リーグに入れなかったチームが所属するものとします。

【ブロック数の増減にかかわらず必ず行われる割り当てのルール】

1) 前年度大会のリーグ1位チームは必ず上位リーグに昇格します。

1) の処理を行った後で、ブロックを減らす時、増やす時それぞれに以下に示す処理を行います。

【実業団男子3部を3ブロックから2ブロックに減らす場合のルール】

ブロックが減ることにより、所属チーム数が減るので、次の順番でチーム数を削減していきます。

2) 前年度大会3部でブロック中3位、最下位だったチーム（6チーム）が4部に降格します。

3) 2) の処理を実施してもまだチーム数が多い場合は、前年度大会3部でブロック中2位だったチームの中から、①勝点、②勝利試合数、③取得ゲーム率、の順番に比較し下位となったチームから順番に、3部の規定チーム数に達するまで4部に降格します。

【実業団男子3部を2ブロックから3ブロックに増やす場合のルール】

4) 前年度大会3部の結果で4部に降格予定だったチームは全チーム残留となります。

5) 4) を実施してもまだチーム数が足りない時は、前年度大会の1つ下のリーグで2位だったチームの中から、①勝点、②勝利試合数、③取得ゲーム率、の順番に比較して上位となったチームから順番に、3部の規定チーム数に達するまで昇格します。

5 各種目のシードについて

各種目のシードについては次のとおりとします。

1) 実業団男子 前年度の1部優勝チーム及び準優勝チームをシードとし、両チームをA、B別ブロックに割り振ります。
前年度の上位リーグからの降格チームを別ブロックに割り振ります。

2) 実業団女子 原則、特にシードを設定しません。
ただし、エントリー数が6チームの場合、前年度の1部優勝チーム及び準優勝チームをシードとし、両チームをA、B別ブロックに割り振ります。

3) クラブ対抗戦 前年度の1部優勝チーム及び準優勝チームをシードとし、両チームをA、B別ブロックに割り振ります。
前年度の上位リーグからの降格チームを別ブロックに割り振ります。

6 同一団体のチームの振り分けについて

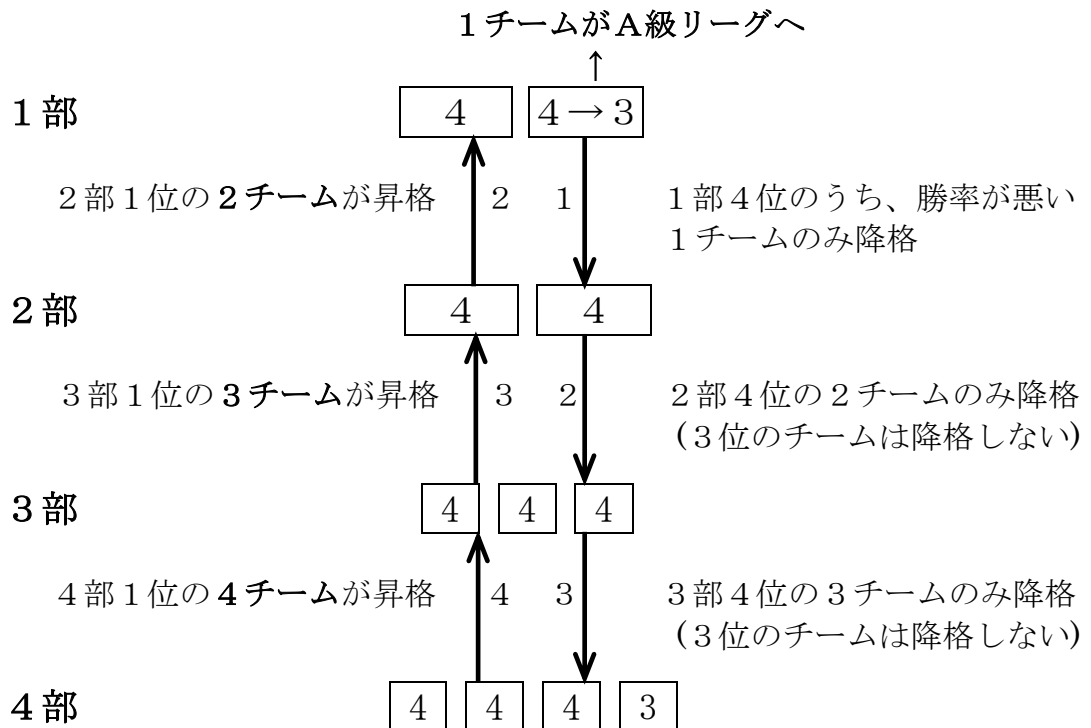
同一種目の同じ部に同一団体のチームが複数入った場合の取扱は以下の通りとします。

- 1) 各種目とも、1部リーグは上部大会（県大会）への出場権を獲得するための予選、という位置づけであることから、完全抽選方式とします。
- 2) 各種目とも、2部以下のリーグにおいては、同一団体のチーム間での対戦が最も少なくなるよう、ブロック分け時に配慮することとします。

IV 県実業団参戦チームの取り扱いについて

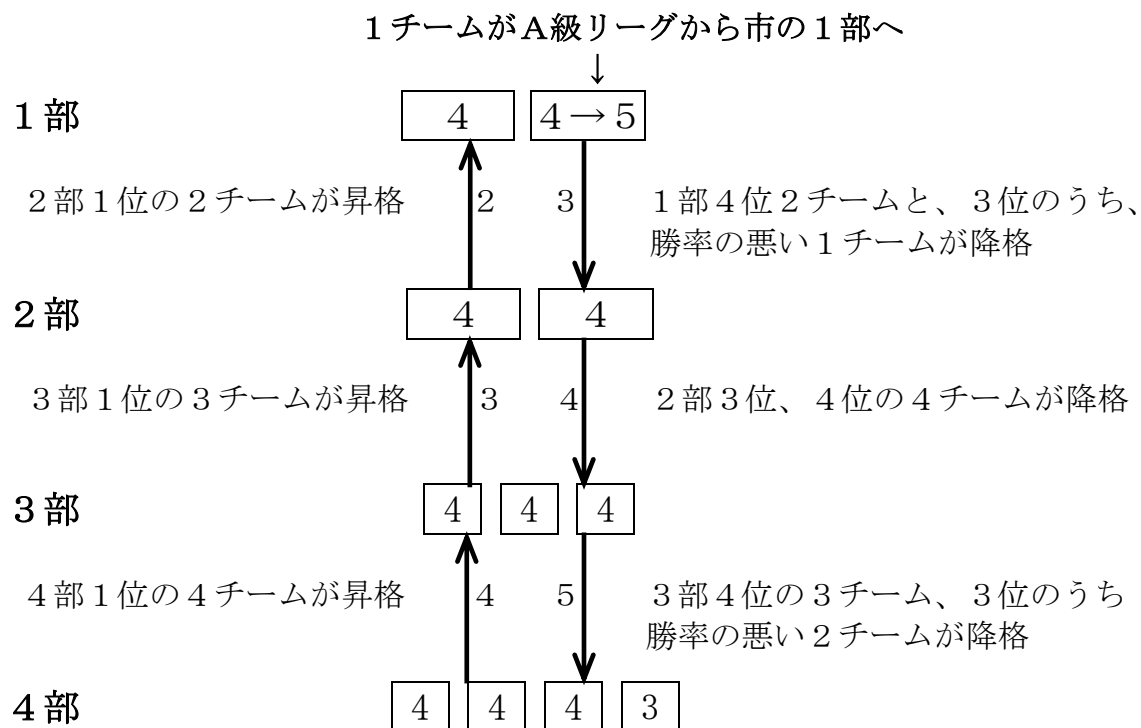
神奈川県実業団対抗テニスリーグ戦（以下「A級リーグ」）に参加しているチームについては、次の通り取り扱います。

- 1) A級リーグに参加しているチームが市の実業団へのエントリーを行わなかった場合、市の1部のチームが1つ減ることになります。この場合は、2部に降格する2チームのうち、勝率が高かったチームが1部残留となります。



- 2) A級リーグに昇格したチームが、市の実業団への参加を希望する場合は、これを認めることとします。この場合、市の実業団1部リーグのチーム数は変わらないため、昇格と降格のチーム数は同数となります。
A級リーグの登録メンバーと、市の実業団の登録メンバーの全部又は一部が重複しても構いませんが、A級リーグと市実業団で重複して登録している選手がいるチームは、市の実業団での成績に関わらず、県のB級トーナメントへの出場資格を認めないものとします。
- 3) A級リーグに参加していたチームが、最下部から降格し、A級リーグへの出場資格を失った時は、市の実業団に戻ってくることになります。
その場合、次のシーズンに市の実業団へ参加する際のルールは以下ようになります。
①上記の1)のように、A級リーグに参加している間、市の実業団に出場していなかったチームは、市の実業団においては1部保留扱いとします。
降格した場合、1部のチームが1チーム増えるため、1部リーグからは3チーム降格、2部リーグ以下の各リーグでは通常よりも降格チームが1チーム増えます。

(昇格、降格のイメージ)



②上記の2)のように、A級リーグに参加していたチームが、市の実業団にも引き続き参戦していた場合は、登録メンバーの如何にかかわらず、県実業団の出場資格がなくなった時に、参戦しているチームが所属している部（1部でない可能性もあります）で引き続き参加することになります。市の実業団リーグ戦でのチーム数が増減しないように、各部リーグの昇格・降格が行われます。

以 上